

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

術後痛ガイドライン

日本ペインクリニック学会/術後痛ガイドライン作成ワーキンググループ（ワーキンググループ長 天谷文昌 京都府立医科大学麻酔科学教室教授）

文光堂 2025 年 2 月 20 日第 1 版発行

Minds 掲載 無

Grading Scale of Strength of Evidence

- A: 質の高い複数のランダム化比較試験もしくは、それらのメタアナリシスから得られたエビデンス
- B: 質の高くないランダム化比較試験または非ランダム化比較試験、観察研究、レジストリー研究から得られたエビデンス
- C: 質の担保できない臨床研究から得られたエビデンス、またはエキスパートオピニオン

Grading Scale of Strength of Recommendation

- I: 手技・治療が有効・有用であるというエビデンスがある、または見解が広く一致している
- IIa: 手技・治療が有効・有用であるというエビデンス・見解から、有効・有用である可能性が高い
- IIb: 手技・治療が有効・有用であるというエビデンス・見解から、有効性・有用性がそれほど確立されていない
- III No benefit: 手技・治療が有効・有用でないとのエビデンスがある、または見解が広く一致している
- III Harm: 手技・治療が有害であるとのエビデンスがある、または見解が広く一致している

■1 漢方製剤

疾患:

術後痛

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ23:漢方製剤やその他の製剤は術後痛に有効か?』の Consensus Statement に以下の記載がある

『術後痛に漢方製剤などを用いることを検討してもよい』

■2 漢方製剤 (治打撲一方、抑肝散、芍薬甘草湯)

疾患:

術後痛

有効性に関する記載ないしその要約

CQ23:漢方製剤やその他の製剤は術後痛に有効か?』の Summary Statement に以下の記載がある

『漢方製剤 (治打撲一方、抑肝散、芍薬甘草湯) を術前に服用すると術後痛に有効とする報告がある。』

■3 治打撲一方、抑肝散、芍薬甘草湯

疾患:

術後痛

引用など:

- 1) Komasa N et al: Preoperative administration of jidabokuippo, a kampo medicine, alleviates postoperative pain after tooth extraction with mandible bone removal under general anesthesia: A prospective, single-blind, randomized controlled trial. *J Altern Complement Med* 24:1214-1218, 2018
- 2) 川原玲子ほか. 小児の扁桃腺摘出術後の鎮痛鎮静における抑肝散の効果の検討. 日本麻酔科学会第 61 回学術集会. 2014
- 3) 福田ゆり ほか: 結紮切除術の術後疼痛に対する芍薬甘草湯術前投与による鎮痛効果の検討. *日本大腸肛門病会誌* 67:324-329, 2014

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ23:漢方製剤やその他の製剤は術後痛に有効か?』の解説に以下の記載がある

『漢方製剤に関しては十分な症例数の RCT が行われていないため、エビデンスに乏しい。数ある漢方製剤の中でも術後鎮痛に対して RCT が行われているのは、治打撲一方、抑肝散、芍薬甘草湯の 3 剤であった』

■4 芍薬甘草湯、抑肝散

疾患:

間質性肺炎（副作用）、偽アルドステロン症（副作用）、心不全（副作用）、ミオパチー（副作用）、肝機能障害（副作用）など

引用など:

(株) ツムラ製品情報 (2022 年 9 月閲覧) <https://www.tsumura.co.jp/products/ippan/>

■5 治打撲一方

疾患:

偽アルドステロン症（副作用）、ミオパチー（副作用）

引用など:

(株) ツムラ製品情報 (2022 年 9 月閲覧) <https://www.tsumura.co.jp/products/ippan/>

<以上 1~5 の記載として>

Grading Scale of Strength of Evidence:

C : 質の担保できない臨床研究から得られたエビデンス、またはエキスパートオピニオン

Grading Scale of Strength of Recommendation:

IIb : エビデンス・見解から、有効性・有用性がそれほど確立されていない

副作用に関する記載ないしその要約:

『漢方製剤では芍薬甘草湯・抑肝散では間質性肺炎、偽アルドステロン症、心不全、ミオパチー、肝機能障害など。治打撲一方は偽アルドステロン症、ミオパチーが重大な副作用とされている』

■6 抑肝散 (坐薬)

疾患:

扁桃腺摘出術後の鎮痛

引用など:

川原玲子ほか. 小児の扁桃腺摘出術後の鎮痛鎮静における抑肝散の効果の検討. 日本麻酔科学会第 61 回学術集会. 2014

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ37:小児への注意点は何か?』の解説⑥漢方薬の項に以下の記載がある
『小児の扁桃摘出術において. 手術開始時に抑肝散坐薬 0.25g/kg を用いるとフェンタニルを使用した場合とほぼ同等の鎮痛効果があった. とする報告がある.』